劇場泥棒

（６０分版）

伊藤貴晴　作

【登場人物】

ユーコ 泥棒

アイコ 亡霊

ヤマダダ 劇団隊長

マキノ 劇団員

ブナシメジ 劇団員

サイトウ 劇場スタッフ

ノノ 亡霊

モモ 亡霊

【１】

とある劇場。

ユーコ、登場。ユーコは歌う。

覚えていてね

春の花吹雪

覚えていてね

夏の流れ星

秋の茜空

冬の降り積む雪

遠い思い出

覚えていてね

アイコ、登場。

ユーコ 誰？

アイコ、退場。

ユーコ 待って

ユーコ、退場。

【２】

ヤマダダ・マキノ・ブナシメジ、登場。

ヤマダダ 全員動くな

マキノ 動くな

ブナシメジ 大人しくしろ

ヤマダダ この劇場は我々が占拠した

マキノ 大人しくしていれば危害は加えない

ブナシメジ 抵抗すれば命はないぞ

ヤマダダ 我々は革命集団自由解放同盟

マキノ 自由解放同盟だ

ブナシメジ 我々は革命集団だ

ヤマダダ 繰り返す。この劇場は我々が占拠した

マキノ 抵抗すれば命はない

ブナシメジ 全員その場を動くな

間。

ヤマダダ おい

マキノ 何でしょうか？　隊長

ヤマダダ どうして誰もいないんだ？

マキノ 分かりません

ブナシメジ 隊長

ヤマダダ 何だ？

ブナシメジ 客が一人もいません

ヤマダダ それは今、俺が言った

ブナシメジ 何を言ったんですか？

ヤマダダ どうして客がいないかということをだ

ブナシメジ どうして客がいないんでしょうか？

ヤマダダ 俺が聞いてるんだ

ブナシメジ はい

ヤマダダ どうして誰もいないんだ？

ブナシメジ 分かりません

マキノ 変ですね

ヤマダダ 時間は？

マキノ ○○時○○分です

ヤマダダ 時間は合ってるな

ブナシメジ 帰ったんですかね？

マキノ 始まってないのに帰るわけないだろ

ヤマダダ どういうことなんだ

ブナシメジ あ

ヤマダダ あ？

ブナシメジ い

マキノ い？

ブナシメジ う

ヤマダダ え

マキノ お

ブナシメジ か

マキノ 何なんだよ？

ブナシメジ 怪奇現象です

ヤマダダ 怪奇現象？

ブナシメジ 神隠しというやつですね

マキノ 神隠しって何？

ブナシメジ 人々が次元の狭間に吸い込まれてしまうんです

ヤマダダ 神隠しとか、そんなことあるわけないだろ

ブナシメジ いえ、科学では解明できない現象が我々の日常の裏側に潜んでいるんですよ

ヤマダダ 俺はお化けとか心霊現象とか信じないんだよ

マキノ 隊長、怖いんですか？

ヤマダダ 怖いに決まってるだろ

ブナシメジ 自分は好きです

マキノ お前、オカルト好きだもんな

ヤマダダ 俺の前でそういう話はするな

ブナシメジ 聞いてほしい話がたくさんあるんですけど

マキノ 何？　何？

ヤマダダ マキノ

マキノ すみません

ブナシメジ 怒られちゃいましたね

マキノ お前に言われると腹立つな

ヤマダダ 話を戻すぞ。マキノ、俺たちは何だ？

マキノ 劇団ドラマチックです

ヤマダダ そうだ。ブナシメジ、今日ここで行われる催し物は何だ？

ブナシメジ 劇団ドラマチック第十六回公演「メモリアルアバンチュール特別編～ときめきをあなたに～」

ヤマダダ そうだ。我々は今日ここで劇団として公演を行うはずなんだ

マキノ そうです

ブナシメジ です

ヤマダダ 開演時間になって、我々俳優が舞台へ飛び出してみたらば

マキノ みたらば

ブナシメジ らば

ヤマダダ どうして観客がいないんだ

マキノ いないんだ

ブナシメジ んだ

ヤマダダ なぜだか分かるか？

マキノ なぜですか？

ブナシメジ 神隠しです

ヤマダダ 違う。最初からここには誰も来ていないんだ

マキノ・ブナシメジ　　そうだったのか

ヤマダダ どうして誰も来てないんだ

マキノ お客さんゼロってことですか

ブナシメジ シュールな光景ですね

ヤマダダ もう怒ったぞ。これは俺に対する挑戦だ。お前ら、客を連れてこい

ブナシメジ え？

ヤマダダ 客がいなきゃ公演ができないだろ

マキノ 今からですか？

ブナシメジ もう誰も来ないと思いますけど

ヤマダダ いいから連れてこい

ユーコ、登場。巨大な消しゴムを持って「１０００のバイオリン」（※１）を歌っている。三人と目が合って、ユーコは逃げる。

ヤマダダ あれは誰だ？

マキノ 分かりません。女です

ブナシメジ 何か変な物持ってましたよ

ヤマダダ 捕まえろ

マキノ え？

ヤマダダ あの女を捕まえろ

マキノ・ブナシメジ　　はい

ヤマダダ・マキノ・ブナシメジ、退場。

【３】

ヤマダダ・マキノ・ブナシメジ・ユーコ、登場。ユーコは縛られている。

マキノ 隊長、捕まえました

ヤマダダ よくやった

ユーコ 縄をほどいて

ブナシメジ いいや、ダメだ

ユーコ 何なの？　一体

ブナシメジ 大人しくしていれば危害は加えない

マキノ 抵抗すればどうなるか分からんがな

ヤマダダ お前ら、悪人らしくなってきたな

ユーコ 何をするつもり？

ヤマダダ 何もしない

ユーコ 嘘

ヤマダダ 本当だ。君は大事な観客だからな

ユーコ 観客？

ヤマダダ そう。観客だ

ユーコ あなたたち、何者なの？

ヤマダダ 聞きたいか？　では教えてやろう。自己紹介だ

自己紹介の音楽と照明。

マキノ みんなに愛される人気劇団

ブナシメジ おとぼけ純情ラブコメ路線

ヤマダダ それが劇団ドラマチック

マキノ ただし

ブナシメジ 劇団ドラマチックにはもう一つの顔がある

ヤマダダ 真の姿は革命家

マキノ 世の中を正すために

ブナシメジ この星を救うために

ヤマダダ 史上最後の革命を起こす

三人 革命集団自由解放同盟

自己紹介の音楽と照明、終わり。

ヤマダダ 隊長のヤマダダだ

ユーコ ヤマダダダ？

ヤマダダ ヤマダダ

ユーコ ヤマダ？

ヤマダダ ヤマダダ

ユーコ 変な名前

マキノ 隊員一号。マキノ

ユーコ 普通の名前

ブナシメジ 隊員二号。ブナシメジ

ユーコ 変な名前

ブナシメジ ブナシメジって変ですか？

マキノ 変だよ

ユーコ 革命集団？

マキノ そうだ

ユーコ で、劇団なの？

ブナシメジ そうです

ユーコ どういうこと？

ヤマダダ 現在、演劇は禁止されている

マキノ 演劇は市民を堕落させる破廉恥な行為である

ブナシメジ 演劇は反社会的な思想を助長する危険な行為である

ヤマダダ そんな理不尽な理由で演劇は禁止された

マキノ 劇団は摘発される

ブナシメジ 劇場は破壊される

ヤマダダ ここはこの星に残った最後の劇場だ。これはこの劇場と演劇を守る戦いだ

ユーコ バカみたい

ヤマダダ 何だと？

ユーコ 劇場を守る？　どうやったら守れるの？

マキノ だからこうやって劇場に立てこもるんだ

ユーコ それじゃ四年前と同じじゃない

ブナシメジ 四年前？

ユーコ クーデターで独裁政権が樹立した

ヤマダダ それから劇場が破壊された

ユーコ 劇場が壊されたのは、抵抗勢力が劇場に立てこもったからでしょ

ヤマダダ そんなことは言われなくても分かってる

ブナシメジ 言われてもよく分かりませんけど

マキノ お前はもっと勉強しろ

ユーコ 見せしめに劇場は全部壊される。劇場を守るなんて無理だよ

ヤマダダ いいや。劇場は必ず守る。演劇が俺たちの使命だ

ユーコ バカみたい

マキノ バカみたいじゃない。隊長はバカなんだ

ヤマダダ マキノ、フォローになってないぞ

マキノ いえ、精一杯のフォローのつもりです

ユーコ ねえ、ヤマダさん

ヤマダダ ヤマダダだ

ユーコ 逃げなくていいの？

マキノ 逃げる？

ヤマダダ どうして逃げるんだ？

ブナシメジ あ、避難勧告が出てるからですか？

マキノ 避難勧告？

ブナシメジ もうすぐ戦争が始まるから、避難勧告が出たんですよ

ヤマダダ ちょっと待て、ブナシメジ。どういうことだ？

ブナシメジ 何がですか？

ヤマダダ 戦争が始まるってどういうことだ。聞いてないぞ、そんな話

ブナシメジ 僕はさっきサイトウさんから聞きました

ヤマダダ どうしてそんな大事な話を俺に言わないんだ

ブナシメジ だって隊長、本番前に話しかけるなって言ったじゃないですか

ヤマダダ それは言わなきゃダメだろ

ブナシメジ はい。今言いました

ヤマダダ 遅いんだよ

ブナシメジ すみません

マキノ だから観客がいないのか

ヤマダダ ふざけるな。何で戦争なんかするんだ

マキノ まずいですね

ヤマダダ 何とかして観客を連れ戻さないと

ユーコ ちょっと待って。逃げないの？

ヤマダダ どうして逃げるんだ？

ユーコ だって戦争なんだよ

ヤマダダ そんなこと知るか。俺たちは芝居をやるんだ

ユーコ は？

マキノ 当たり前だろ。劇団なんだから

ブナシメジ そうですね

ユーコ あなたたち、頭おかしいんじゃないの？

ヤマダダ おかしいのは戦争やってる奴らだ

サイトウ、登場。

サイトウ あ、いたいた。やっと見つけた

ヤマダダ サイトウさん

サイトウ 早く避難しなきゃまずいよ

ヤマダダ 今、どうなってるんですか？

サイトウ 大変だよ。連邦軍が宣戦布告してきてさ。恐ろしいね

マキノ 独裁政権を潰すつもりですね

サイトウ さあ、今ならまだ間に合う。早く避難するんだ

マキノ どこに避難するんですか？

サイトウ 隣の星だよ。お客さんはみんな避難させた

ヤマダダ え？　お客さんを？

マキノ サイトウさんが避難させたんですか？

サイトウ そうだけど

ヤマダダ 何てことしてくれたんですか

サイトウ え？

ヤマダダ 俺たちはこれから芝居やるんですよ

マキノ どうしてお客さん連れてっちゃうんですか

ブナシメジ そうですよ

サイトウ いや、でも戦争が

ヤマダダ 今すぐミサイル降ってくるわけじゃないでしょ

マキノ 芝居やる時間くらいありますよ

ブナシメジ そうですよ

サイトウ それはそうかもしれないけど、僕は劇場スタッフとして安全を最優先に

ヤマダダ だったらどうして避難させる前に俺に一言言ってくれないんですか？

サイトウ いや、ブナシメジ君には言ったんだけど

ヤマダダ こんな役立たずに言っても仕方ないでしょ

ブナシメジ そうですよ

マキノ 勝手なことされたら困ります

サイトウ そんなこと言われても

ヤマダダ 連れ戻してください

サイトウ え？

マキノ これから芝居やるんですから、お客さん連れてきてください

サイトウ でも、もう避難しちゃったんだけど

ヤマダダ 今から行けば間に合います

マキノ さあ、早く

サイトウ 分かった。ちょっと待ってて

ブナシメジ よろしくお願いします

サイトウ、退場。

マキノ 大丈夫ですかね

ヤマダダ 信じるしかないな

ユーコ ねえ、ヤマダさん

ヤマダダ ヤマダダだ

ユーコ 私はもういらないんじゃないの？

ヤマダダ いや、いるよ

ユーコ どうして？

ヤマダダ だって観客だろ？

ユーコ 違うよ

ヤマダダ じゃあ何だ？

ユーコ 何だって言われても

マキノ 君、ここに何しに来たの？

ユーコ え？

マキノ 避難勧告を聞いたんだろ？　どうして逃げなかったの？

ユーコ それは

ヤマダダ 怪しいな

マキノ 怪しいですね

ユーコ 別に怪しくないよ

ヤマダダ ここに何しに来た？

ユーコ 別に

ヤマダダ 目的は何だ？

ユーコ 別に何も

ヤマダダ どうして避難しなかった？

ユーコ 話したくない

ヤマダダ 全部喋っちまえよ。吐いたら楽になるぞ。なあ、カツ丼食うか？

ユーコ あるの？

ヤマダダ ブナシメジ、カツ丼持ってこい

ブナシメジ ありませんよ

ヤマダダ だったらお前がカツ丼になれ

ブナシメジ 無茶言わないでください

マキノ それじゃブナシメジ丼ですよ

ユーコ それはいらない

ヤマダダ さっさと吐け。黙ってるとお前のためにならねえぞ

ユーコ ガラ悪い

ヤマダダ 吐かないんだったら、身体に聞くしかないな

マキノ エロいっすね

ヤマダダ そういう発想になるお前がエロい

マキノ 隊長はエロくないんですか？

ヤマダダ 俺はエロいよ

ユーコ 帰っていい？

ヤマダダ ダメだ

マキノ ここで何をするつもりなんだ

ユーコ 別に何もしないよ

ヤマダダ その消しゴムはどうしたんだ？

ユーコ 倉庫で見つけた

ヤマダダ 盗んだのか？

ユーコ そういうつもりじゃないけど

マキノ 分かったぞ。泥棒だな

ユーコ は？

ブナシメジ 泥棒ですか？

マキノ 火事場泥棒だよ。避難勧告が出て、人がいなくなったところへ

ブナシメジ 盗みに入る

ヤマダダ なるほど

ユーコ 違う。そんなんじゃない

マキノ その消しゴムが証拠だ

ブナシメジ これ何ですかね？

マキノ 劇の小道具か何かだろ

ユーコ こんな物盗んでも仕方ないでしょ

ヤマダダ だったらどうしてここへ来た？

ユーコ 劇場を見にきたの

マキノ 劇場を？

ユーコ 私、演劇やってたんだ。四年前まで

ヤマダダ 女優なのか

ユーコ もうやめたよ

ヤマダダ だったら一緒にやろう

ユーコ え？

ヤマダダ 君、名前は？

ユーコ ユーコ

ヤマダダ ユーコ

ユーコ 馴れ馴れしく呼ばないで

ヤマダダ 君の力を貸してほしい

ユーコ 嫌

ヤマダダ はいかイエスで答えてくれ

ユーコ ノー

ヤマダダ ありがとう。君ならやってくれると信じてたよ

ユーコ 人の話聞きなさいよ。やらないって言ってるでしょ

ヤマダダ どうしてやってくれないんだ

ユーコ どうして演劇なんかやらなきゃいけないの？

ヤマダダ 自分だってやってたんだろ

ユーコ 今更演劇なんかやっても無駄なの

ヤマダダ 無駄じゃない。世の中を変えるんだ

ユーコ 勝手にすればいいでしょ。私は関係ない

奇妙な音がする。

ヤマダダ 何だ？　今のは

マキノ さあ？

奇妙な音がする。

ユーコ え？　何これ？

ブナシメジ 劇場の亡霊ですかね

ヤマダダ 劇場？

マキノ の？

ユーコ 亡霊？

ブナシメジ はい。劇場の亡霊

ヤマダダ 何だそれは？

ブナシメジ あれ？　知らないんですか？

マキノ 初耳

ブナシメジ えー、みんな知ってるんだと思ってました

ユーコ 何それ？　怖い話？

ブナシメジ 劇やってると、「あれ？　こんな人いたかな？」っていう人と一緒に演技してることあるじゃないですか。カーテンコールで並んだ時に数えてみたら一人多いとか。そういうのが劇場の亡霊です

ヤマダダ いや、ないよ

マキノ うん、ない

ヤマダダ 何それ？　劇場の亡霊？　冗談だろ？　お前、そんなバカみたいなこと言うなよ。ないよ、ない。普通はありえない

ブナシメジ そうですか？

マキノ え？　あったの？　今まで

ブナシメジ 何度か

マキノ 嘘

ユーコ 怖っ

ヤマダダ ありえないだろ

ブナシメジ ラッキーですよね

マキノ それはラッキーなのか？

ユーコ 呪われそう

ブナシメジ 呪われますよ

ヤマダダ え？

ブナシメジ 亡霊に会うと、向こうの世界に連れていかれて、自分も亡霊になってしまうっていう噂です

ヤマダダ よし、帰ろう

マキノ 隊長

ヤマダダ 避難勧告が出てるんだ。一刻も早く避難しなければ

ブナシメジ 隊長、公演は？

ヤマダダ 俺は怖いのダメなんだよ

マキノ 隊長のくせに

ヤマダダ 隊長だって苦手な物はある

ブナシメジ 大丈夫ですよ。僕は今まで大丈夫でした

マキノ それはお前が変なだけだ

ユーコ 劇場の亡霊

マキノ どうかした？

ユーコ さっきの子

ブナシメジ え？

ユーコ さっき女の子がいたの。突然現れて、いつの間にかいなくなって。その子を追いかけてたら、その消しゴムを見つけたの

ブナシメジ そうか。その子が劇場の亡霊だ

ヤマダダ まさか

ユーコ そうだよ、きっと

ヤマダダ 嘘だ

ユーコ 嘘じゃない

ヤマダダ 嘘つきは泥棒の始まりだぞ

ユーコ ねえ、助けて

照明がおかしくなり、奇妙な音がする。

ヤマダダ 何だこれは

ブナシメジ ラップ現象ですね

マキノ 何それ？

ブナシメジ 心霊現象のひとつです。幽霊がこうやって音を出したりするんです

マキノ お前は本当に変なことに詳しいな

ブナシメジ 本当にいるんだ

ユーコ お願い、助けて

ヤマダダ 嫌だ、俺は信じないぞ

ブナシメジ 劇場の亡霊

マキノ 本当に？

奇妙な音がする。ヤマダダとマキノは逃げる。

ユーコ あ、ちょっと待ってよ。縄ほどいて

ブナシメジ すごい。こんなの初めてだ

ユーコ あんた縄ほどきなさいよ

【４】

アイコ、登場。巨大な鉛筆を持って「１０００のバイオリン」を歌っている。アイコは鉛筆でブナシメジを攻撃する。

アイコ ミサイル

ブナシメジ うわっ

ブナシメジは気を失って倒れる。

ユーコ 何？

アイコ ミサイル

ユーコ ミサイル？

アイコ おもしろいことをたくさんしたい

ユーコ え？　どういうこと？

アイコ え？　私はおもしろいよ

ユーコ あなた、誰？

アイコ 返して

ユーコ え？

アイコ 消しゴム、返して

ユーコ 返すから縄ほどいて

アイコはユーコの縄をほどく。

ユーコ ありがとう

アイコ どういたしまして

ユーコ はい、消しゴム

ユーコはアイコに消しゴムを渡す。

アイコ ありがとう。はい、消しゴム

ユーコ え？

アイコ あげる。消しゴム

ユーコ いや、別にいらないけど

アイコ あげる

ユーコ ありがとう

アイコはユーコに消しゴムを渡す。

ユーコ あなた、誰？

アイコ かわいい女の子

ユーコ え？

アイコ かわいいでしょ？

ユーコ あなたが劇場の亡霊？

アイコ そうだよ

ユーコ 幽霊なの？

アイコ 幽霊とは違う

ユーコ どう違うの？

アイコ 幽霊っていうのは、あくまで個人の魂が消滅しないで残っているもの。私は複数の思念の集合体

ユーコ え？　何それ？

アイコ 思念っていうのは人の思い。いろんな人の思いが集まって形になってるっていうこと。私は特定の個人ではなくて、この劇場に残った思い出の結晶。だから私は劇場の亡霊と呼ばれる

ユーコ 劇場の亡霊

アイコ あなた、誰？

ユーコ ユーコ

アイコ ユーコ

ユーコ うん

アイコ 泥棒なの？

ユーコ 違うよ

アイコ 嘘つきは泥棒の始まりって本当？

ユーコ さあ？

アイコ 私、アイコ

ユーコ アイコ

アイコ よろしく

ユーコ よろしく

アイコ 人が倒れてる

ユーコ 自分でやったんでしょ

アイコ 大丈夫ですか？　大丈夫ですか？

ユーコ 何してるの？

アイコ 心臓マッサージをします。せいや

アイコはブナシメジを殴る。

ブナシメジ ぐはっ

ユーコ それ、心臓マッサージじゃないよ

アイコ え？　心臓に刺激を与えればいいんじゃないの？

ユーコ そうなんだけど

アイコ せいや

ブナシメジ ぐはっ

ユーコ 死んじゃうんじゃないの？

アイコ 死んだら寿命だよ

ユーコ 違うよ

アイコ 起きろ（殴る）

ブナシメジ ぐはっ

アイコ 起きないね

ユーコ とどめを刺した気がする

アイコ どうしよう？

ユーコ 放っておこうか

アイコ そうだね。ねえ

ユーコ 何？

アイコ 助けてあげたから、私のお願い聞いてくれる？

ユーコ え？　どういうこと？

アイコ さっき助けてって言ってたよね

ユーコ うん、言った

アイコ ユーコを悪い奴らから助けてあげたよ

ユーコ ありがとう

アイコ だから、私のお願い聞いてくれる？

ユーコ お願いって何？

アイコ 劇場を守ってほしいの

ユーコ 劇場を守る？

アイコ そう

ユーコ どういうこと？

アイコ このままだとこの劇場はなくなっちゃうから

ユーコ でも、それは仕方ないよ

アイコ そんなのダメ

ユーコ この人たちが守ってくれるみたいだよ

アイコ こんなのアテにならない

ユーコ そうね

アイコ だからお願い

ユーコ そんなことできないよ

アイコ どうして？

ユーコ 私にはそんなことできない

アイコ できるよ

ユーコ どうして？

アイコ その消しゴムを見つけてくれたから

ユーコ え？

アイコ ノノ、モモ

ノノ・モモ　　はーい

ノノ・モモ、登場。

ノノ 私、ノノ

モモ 私、モモ

ノノ よろしく

モモ よろしく

ユーコ よろしく

アイコ モモに消しゴムを渡してあげて

ユーコ うん

アイコはノノに鉛筆を渡す。ユーコはモモに消しゴムを渡す。

アイコ 行ってらっしゃい

ノノ・モモ　　行ってきます

ユーコ 何をするの？

アイコ 魔法をかけるんだよ

ユーコ 魔法？

ノノ えんぴ

モモ つの

ノノ ちか

モモ らと

ノノ けしご

モモ む

ノノ のち

モモ から

ユーコ 何それ？

ノノ えんぴ

モモ つは

ノノ なんで

モモ もか

ノノ ける

モモ けしご

ノノ むは

モモ なんで

ノノ もけ

モモ せる

ユーコ 何でも書けるし、何でも消せる

ノノ・モモ　　そう

ユーコ どういうこと？

アイコ そういうこと

ユーコ どういうこと？

ノノ そういうこと

ユーコ どういうこと？

モモ そういうこと

ユーコ 分からないよ

ノノ いった

モモ こと

ノノ が

モモ ほんと

ノノ うに

モモ なる

ノノ ん

モモ だよ

ユーコ え？

ノノ おもしろいね

モモ おもしろいね

ノノ・モモ、退場。

ユーコ 言ったことが本当になるって言った？

アイコ うん。言ったよ

ユーコ 信じられない

アイコ どうして？

ユーコ そんなこと、あるわけないじゃない

アイコ 劇場は夢が叶う場所だよ

ユーコ え？

アイコ 違う？

ユーコ 分からない

アイコ そのうち分かるよ。さ、逃げてった二人を探そう

ユーコ どうするの？

アイコ やっつけるんだよ

ユーコ そっか

アイコ 行こう

ユーコ うん

アイコ・ユーコ、退場。

【５】

ヤマダダ・マキノ、登場。

ヤマダダ 行ったか

マキノ そのようですね

二人はブナシメジに近寄る。

マキノ おい、しっかりしろ。大丈夫か

ヤマダダ 死んでないか？

マキノ 残念ながら生きてます

ヤマダダ 一体何だったんだ

マキノ 言ったことが本当になるって、どういうことでしょうか？

ヤマダダ 分からん。とにかく、逃げた方がよさそうだ

マキノ そうですね

ヤマダダ おい、ブナシメジ、起きろ

ブナシメジが目を覚ます。

ブナシメジ うーん

マキノ 気がついた

ヤマダダ 大丈夫か？　ブナシメジ

ブナシメジ あと五分寝させてください

ヤマダダ 寝ぼけるな。シャキッとしろ

ブナシメジ シヤキッ

ブナシメジはシャキッとする。

ヤマダダ 何だ？

マキノ おい、ブナシメジ

ブナシメジ シャキッ

ヤマダダ どうしたんだ？

マキノ まさか

ヤマダダ 何だ？

マキノ 隊長がシャキッとしろって言ったからじゃないですか？

ブナシメジ シャキッ

ヤマダダ じゃあ、シャキッとしろって言ったからシャキッとしてるのか

ブナシメジ シャキッ

マキノ そうだと思います

ヤマダダ こいつはバカか

マキノ バカですね

ブナシメジ シャキッ

ヤマダダ おい、ブナシメジ。逃げるぞ

ブナシメジ シャキッ

ヤマダダ どうして反応しないんだ

マキノ さあ？

ヤマダダ ブナシメジ、だらっとしろ

ブナシメジ だらっ

マキノ あ、反応した

ヤマダダ むにゅっとしろ

ブナシメジ むにゅっ

マキノ でろっとしろ

ブナシメジ でろっ

ヤマダダ がつっとしろ

ブナシメジ がつっ

マキノ ぱりっとしろ

ブナシメジ ぱりっ

ヤマダダ どうして擬態語にしか反応しないんだ

マキノ おもしろいですね、これ

ヤマダダ 遊んでる場合か。おい、しっかりしろ

ブナシメジ 僕はブナシメジ。みんなのヒーロー。きのこの王様

マキノ ダメだ。完全におかしくなってる

ヤマダダ どうしてこんなことに

アイコ・ユーコ・ノノ・モモ、登場。

アイコ ここにいたのね

マキノ しまった

ヤマダダ 見つかったか

ユーコ 自分から戻って来るなんて偉いじゃない

ヤマダダ ユーコ

ユーコ 気安く呼ばないで。見捨てて逃げたくせに

ヤマダダ すまん

ユーコ すまんじゃないでしょ。ごめんなさいでしょ

ヤマダダ ごめんなさい

ユーコ あんたも謝りなさい

マキノ ごめんなさい

ユーコ ごめんなさいが言えなきゃ、ろくな大人にならないよ

ヤマダダ はい

マキノ ブナシメジに何をした

アイコ 呪いをかけたの

ユーコ え？

マキノ 呪いだと？

ヤマダダ どんな呪いだ

アイコ えっとね、頭がおかしくなって、そのうち死んじゃうの

ヤマダダ 何だって

マキノ ブナシメジ

ヤマダダ しっかりしろ

マキノ 死ぬんじゃない

ブナシメジ 隊長？

ヤマダダ 気がついたか？

ブナシメジ 隊長、僕

マキノ 喋らなくていい

ブナシメジ 僕はブナシメジ。きのこの王様ブナシメジ。がく

ヤマダダ・マキノ　　ブナシメジ

ブナシメジは倒れる。ノノとモモがブナシメジを連れて退場。

ユーコ ブナシメジはきのこの王様じゃないと思う

ヤマダダ おのれ、よくもブナシメジを

アイコ はっ

アイコが手をかざすとヤマダダの動きが止まる。

マキノ 隊長、どうしたんですか？

ヤマダダ 身体が動かない

ヤマダダは変な動きをする。

マキノ 隊長、気持ち悪いです

ヤマダダ 身体が勝手に動くんだ

アイコ ほら、ユーコも

ユーコ え？　私も？

マキノ やめろ

ユーコ はっ

マキノは転ぶ。

マキノ あれ？

ヤマダダ どうした？　マキノ

マキノ いや、身体が勝手に

マキノは何度も転ぶ。

アイコ これが亡霊の呪い

ヤマダダ 恐ろしい呪いだ

マキノ 嫌な呪いだ

ヤマダダ どうしてお前は亡霊と一緒にいるんだ？

アイコ 彼女は私と手を組んだの

マキノ 亡霊と？

アイコ そしてあんたたちをズタズタのボロボロにしてやるのよ

ヤマダダ 何だって？

ユーコ そうよ。あんたちなんかグチョグチョのドロドロにしてやるんだから

マキノ 何か気持ち悪そうだ

ヤマダダ どうしてそんなことを？

アイコ 教えてあげなさい

ユーコ 私が？

アイコ おもしろくなってきた

ユーコ 彼女は劇場の亡霊たちを従える恐怖の大魔王

ヤマダダ 大魔王だと

ユーコ あんたたちの魂を喰らい尽くしてやるのよ

アイコ じゅるり

ユーコ 嫌だ

アイコ そして彼女は歴史に名を残す大泥棒。石川二十五右衛門次郎吉三世（※２）

ユーコ 違う

アイコ またの名を、怪盗アルセーヌ・ジャンヌ・セイントテール（※３）

ユーコ 違う

ヤマダダ お前がキャッツアイ（※４）か

ユーコ 違う

アイコ さあ、どうするの？

ヤマダダ くそ、こんなときにブナシメジがいてくれたら

マキノ ブナシメジがスーパーヒーローみたいに登場してくれたら

アイコ 止めだ

ブナシメジ・ノノ・モモ、登場。

ブナシメジ ちょっと待った

ヤマダダ・マキノ　　ブナシメジ

ブナシメジ きのこの王様、ブナシメジ

ノノ きのこの女王、マイタケ

モモ きのこのアイドル、ナメコ

ブナシメジ・ノノ・モモ　　キノコ同盟、参上

ユーコ いつそんな同盟組んだの？

ブナシメジ 隊長、大丈夫ですか？

マキノ 無事だったのか、ブナシメジ

ブナシメジ これがキノコの力です

ヤマダダ さすがヒーローだ

ユーコ こんなヒーロー嫌だ

ブナシメジ さ、キノコを食べるんです

マキノ キノコを？

ブナシメジ キノコを食べれば呪いが解けるはず

ノノ さあ

モモ さあ

ヤマダダ 分かった

ノノとモモはヤマダダとマキノにキノコを食べさせる。

アイコ 残念ながら、それは毒キノコだよ

ブナシメジ 何？

ヤマダダ うっ、苦しい

マキノ 助けてくれ

ブナシメジ どういうことだ？

アイコ ノノとモモは私たちの仲間

ノノ そういうこと

モモ 覚悟しなさい

ブナシメジ そんな

ノノとモモはブナシメジをボコボコにする。

ブナシメジ 隊長、やられました

マキノ もうダメです、隊長

ヤマダダ 諦めるな。まだ望みはある

サイトウ、登場。

サイトウ 大丈夫か？

ヤマダダ サイトウさん

サイトウ しっかりしろ。何があったんだ？

ヤマダダ いや、ちょっと

マキノ 説明が難しいんですけど

ヤマダダ サイトウさん、お客さんは？

サイトウ すまん。戻るように呼びかけたんだけど、誰も来てくれなかった

マキノ そんな

ヤマダダ このままじゃ芝居ができない

サイトウ 逃げよう。もうすぐ戦闘が始まるぞ

ヤマダダ 上演しないで逃げるわけにはいきません

サイトウ なぜそこまで劇にこだわるんだ

ヤマダダ 俺たちが劇団だからです

サイトウ 分かった。そこまで言うなら何とかしよう

ヤマダダ え？

サイトウ 僕は劇場のスタッフだ

ヤマダダ サイトウさん

サイトウ こんな物しかないけど

サイトウは柿ピーをヤマダダに渡す。

ヤマダダ これは？

サイトウ 柿ピーだ

ヤマダダ 柿ピーですか

サイトウ 人が増えたね

アイコ こんにちは

ノノ こんにちは

モモ こんにちは

サイトウ こんにちは

マキノ 気にしないでください

サイトウ 何か事情がありそうだからこれ以上は聞かないけど、頑張って。僕はもう一度観客を呼んでこよう

ヤマダダ すみません。ありがとうございます

サイトウ、退場。

ヤマダダ さあ、柿ピーを食べるんだ

ヤマダダ・マキノ・ブナシメジは柿ピーを食べる。

マキノ うまい

ブナシメジ 力がみなぎってくる

ヤマダダ 柿ピーで復活だ

ユーコ 嘘

アイコ すごい

ヤマダダ サイトウさん、ありがとう

ユーコ どうなってるの？　これ

アイコ だから、言ったことが本当になるの

ヤマダダ よし。このまま俺の妄想を実現してやる

マキノ やりますか、隊長

ユーコ 何をするつもり？

ヤマダダ 決まってるだろ。芝居をやるんだ

アイコ 芝居？

ヤマダダ そうだ。劇団ドラマチック第十六回公演「メモリアルアバンチュール特別編～ときめきをあなたに～」。どうだ、見たいだろ？

アイコ ううん、出たい

マキノ 出たい？

アイコ 私も一緒にやりたい

ノノ 私も

モモ 私も

マキノ どうしますか？

ヤマダダ 亡霊と一緒になんかできないぞ

ブナシメジ やりましょうよ、隊長

ヤマダダ お前は黙ってろ

アイコ やろうよ、ヤマダさん

ヤマダダ ヤマダダだ

アイコ 上演するんでしょ？

ヤマダダ 呪ったりしないか？

アイコ うん。しない

ヤマダダ よし、一緒にやろう

ユーコ 私はやらないよ

アイコ ユーコも一緒にやるんだよ

ユーコ どうしてそんな話になってるの？

ヤマダダ 覚悟を決めろ。上演するんだ

ユーコ 劇はできない

ヤマダダ どうして？

ユーコ 観客がいないから

アイコ いるよ

ユーコ え？

アイコ 観客はいる

ユーコ どこに？

アイコ 客席に

ヤマダダ どこだ

マキノ いないよ

ブナシメジ そうですね

アイコ イメージして。ちゃんといるから

ユーコ イメージ

アイコ みんな、目を閉じて

全員、目を閉じる。

アイコ 三つ数えたら目を開けてね

ヤマダダ 分かった

アイコ ユーコ

ユーコ 何？

アイコ 三つ数えて

ユーコ 私が？

アイコ ちゃんとイメージするんだよ

ユーコ 一、二、三

全員、目を開ける。

ユーコ あ

ヤマダダ 見えた

マキノ すごい

ブナシメジ これ、誰ですか？

アイコ 劇場の亡霊たち

ヤマダダ これ、みんな亡霊なのか

アイコ そうだよ

ヤマダダ どうしよう。俺、クラクラしてきた

マキノ しっかりしてください、隊長

アイコ さあ、開演するよ

マキノ え？　もう始まるの？

ブナシメジ 緊張してきた

ユーコ ちょっと待って。私はやらないって

ヤマダダ ここまで来たらやるしかないだろ

ユーコ 勝手に決めないで

アイコ ユーコ、お願い

ユーコ アイコ

アイコ お願い

ユーコ どうなっても知らないからね

アイコ ありがとう

ユーコ どんな話かも知らないのに

マキノ やりながら説明するよ

ユーコ そんな適当でいいの？

ブナシメジ 何とかなりますよ

ヤマダダ よし、やるぞ

【６】

ノノとモモに照明が当たる。

ノノ 時は今から百年前

モモ 古き良き平和な時代

ノノ だが、いつの時代にも世間を騒がす悪党がいる

モモ そんな悪党と戦うのが、警部ヤマダダ

ヤマダダに照明が当たる。

ヤマダダ ルパン、逮捕だ（※５）

マキノ それ、銭形警部じゃないですか

ブナシメジ 真面目にやってください

ヤマダダ 警部ヤマダダとは俺のことだ

モモ そんなヤマダダが熱烈猛アタックを仕掛けているのが

ノノ 劇場のスター、ユーコ

ユーコに照明が当たる。

ヤマダダ ユーコちゃん

モモ 当時、世間の人々は劇場に通って、歌や踊りや演劇を楽しんでいた

ノノ ユーコは劇場のスターとして男たちの注目の的だったが、その中でも特にしつこかったのがヤマダダ警部

ヤマダダ 俺が君を守ってあげる

ユーコ ちょっと、勝手に入って来ないでよ

モモ 彼は警部という立場を利用して勝手に劇場内に入り込み、ユーコを口説いていた

ユーコ 職権乱用でしょ？

ヤマダダ 愛のなせる業だよ

ノノ だが、ユーコには、ヤマダダの知らない別の顔があった

モモ 彼女は世間を騒がす怪盗

ノノ その名も、大泥棒石川二十五右衛門次郎吉三世（※２）

ユーコ 違う

モモ またの名を、怪盗アルセーヌ・ジャンヌ・セイントテール（※３）

ユーコ 違う

ノノ じゃあ何？

マキノ 怪盗ＸＹＺ

ノノ 怪盗

モモ ＸＹＺ

ヤマダダ 待て、怪盗ＸＹＺ

ユーコ ヤマダダ君、お宝はいただいていくよ

ヤマダダ 畜生、また奴にやられた

ノノ 怪盗ＸＹＺと警部ヤマダダは宿命のライバル

ヤマダダ 必ず奴を捕まえてみせる

モモ そして、ヤマダダ警部をサポートする名探偵マキノ

マキノに照明が当たる。

マキノ 真実はいつもひとつ（※６）

ヤマダダ 頼むぞ、名探偵

マキノ 任せてください

ノノ そして警部の部下

モモ うっかり八兵衛（※７）

ブナシメジに照明が当たる。

ブナシメジ え？　何で？

ヤマダダ 何やってるんだ。台詞言えよ

ブナシメジ いや、僕は巡査なんですけど

ヤマダダ 違うだろ。うっかり八兵衛だろ

ブナシメジ そうなんですか？

ヤマダダ ほら、言ってみろ。「こいつはうっかりだ」

ブナシメジ 「こいつはうっかりだ」

ヤマダダ よし

ノノ ついに怪盗を追い詰めた警部たち

ヤマダダ もう逃げられないぞ

マキノ 大人しく捕まれ

ブナシメジ 御用だ

アイコ 待ちなさい

ヤマダダ 誰だ？

アイコに照明が当たる。

アイコ ずいぶん苦戦してるみたいね

ユーコ ごめん、失敗しちゃった

マキノ お前は誰だ？

アイコ 知らなかったの？　私たちは四人合わせて怪盗ＸＹＺ

ブナシメジ 四人？

ユーコ 私が怪盗Ｘ

アイコ 私が怪盗Ｙ

ノノ 私が怪盗Ｚ

モモ 私も怪盗Ｚ

マキノ どうしてＺが二人いるんだ

アイコ さ、逃げるよ

ヤマダダ そう簡単に逃げられると思うなよ

アイコ どうかな。Ｚたち、やってしまいなさい

ノノ・モモ　　オッケー

ノノとモモはマキノとブナシメジを攻撃する。

マキノ うわっ

ブナシメジ やめろ

ヤマダダ お前ら、しっかりしろ

アイコ さ、今のうちに

ユーコ ありがとう

ユーコ、退場。

ヤマダダ 待て

アイコ 通さないよ

ヤマダダ そこをどけ

アイコ 嫌

ヤマダダ だったらお前から先に捕まえてやる

アイコ 返り討ちよ。はっ

アイコはヤマダダを攻撃する。

ヤマダダ ぐはっ

アイコ さ、行くよ

ノノ・モモ　　ラジャー

アイコ・ノノ・モモ、退場。

マキノ 警部、大丈夫ですか？

ヤマダダ ああ。奴らはどうした？

ブナシメジ 逃げられました

マキノ くそ、まさか四人もいるとは

ヤマダダ 厄介だな

ブナシメジ どうしますか？

ヤマダダ 帰って作戦会議だ

ブナシメジ はい

ヤマダダ 必ず捕まえてやる。覚悟してろよ

ヤマダダ・マキノ・ブナシメジ、退場。

ノノ・モモ、登場。

ノノ・モモ　　さあ、警部たちは怪盗ＸＹＺを捕まえることができるのか

ノノ・モモ、退場。

【７】

ユーコ、登場。

ユーコは歌う。

覚えていてね

春の花吹雪

覚えていてね

夏の流れ星

秋の茜空

冬の降り積む雪

遠い思い出

覚えていてね

ヤマダダ、登場。

ヤマダダ こんにちは、ユーコちゃん

ユーコ 警部、また来たの？

ヤマダダ やっぱりユーコちゃんの歌はいいね

ユーコ まだ準備中よ。勝手に入って来ないで

ヤマダダ すまない。邪魔をするつもりはなかったんだけど、君の歌声に導かれて、いつの間にかここまで来てしまったんだ

ユーコ ここは関係者以外立ち入り禁止

ヤマダダ 固いこと言わないでよ

ユーコ 係員に止められなかった？

ヤマダダ いいや

ユーコ どうせ無理矢理通ったんでしょ？

ヤマダダ ユーコちゃん。俺は君に会いに来たんだよ

ユーコ それはさっき聞いた

ヤマダダ 君のことを思うと苦しくて夜も眠れないんだ

ユーコ へえ

ヤマダダ これは病気なんだよ。何ていう病気か分かる？　そう。これは恋の病

ユーコ 頭の病気でしょ

ヤマダダ 君のことが忘れられないんだ

ユーコ 仕事はいいの？

ヤマダダ 仕事は忘れよう

ユーコ 忘れちゃダメでしょ

ヤマダダ デートしようよ

ユーコ 唐突ね

ヤマダダ 次の休み、いつ？

ユーコ 休みはありません

ヤマダダ 一日くらいあるでしょ？

ユーコ 忙しいの、私

ヤマダダ 息抜きも必要だよ

ユーコ いりません

ヤマダダ ご飯食べに行こうよ。おごるからさ

ユーコ 結構です

ヤマダダ ねえ、ユーコちゃん

ユーコ 警部さん

ヤマダダ 警部なんて他人行事な言い方しないでよ

ユーコ 他人でしょ

ヤマダダ 名前で呼んでよ。タカユキって

ユーコ 嫌

ヤマダダ じゃあ、せめて名字で呼んで

ユーコ ヤマダさん

ヤマダダ ヤマダダ

ユーコ この際はっきり言っておくけど、こういうのは迷惑なの。警部さんはあくまでお客さんだから。プライベートに踏み込まないでください

ヤマダダ 分かった

ユーコ 本当に？

ヤマダダ 劇場以外の所で会ったらお客さんじゃないよね

ユーコ 全然分かってない

ブナシメジ、登場。

ブナシメジ 警部、警部

ヤマダダ ブナシメジ

ブナシメジ あ、やっぱりここにいたナリか

ヤマダダ 何だ？　その喋り方は

ブナシメジ え？　うっかり八兵衛ってこんな喋り方じゃないナリか？

ヤマダダ 全然違うぞ

ユーコ コロ助（※８）みたいだね

ブナシメジ コロ助はうっかり八兵衛ナリか？

ヤマダダ 違う。お前、何しに来たんだ？

ブナシメジ 警部、大変ナリ。たった今、怪盗ＸＹＺから予告状が届いたナリ

ユーコ え？

ヤマダダ 何だって？

ブナシメジ これナリ

ヤマダダ 「今夜零時、劇場をいただきに参上する。怪盗ＸＹＺ」

ユーコ 劇場を？

ブナシメジ どういうことナリか？

ヤマダダ 劇場をいただくということは、劇場をいただくということだ

ユーコ 見せて

ヤマダダ ああ

ブナシメジ 劇場をどうするナリか？　持って行くナリか？

ヤマダダ 俺に聞くなよ

ブナシメジ そんなことできないナリ

ヤマダダ 不可能を可能にするのが怪盗ＸＹＺだ

ブナシメジ 恐ろしい奴ナリね

ヤマダダ 今度こそ捕まえるぞ

ブナシメジ 頑張るナリ

アイコ・ノノ・モモ、登場。

アイコ 警部さん

ノノ どうしたんですか？

モモ 何かあったんですか？

ヤマダダ アイコちゃん。この子たちは？

ノノ 新人のノノです

モモ 同じく新人のモモです

ノノ・モモ　　よろしくお願いします

ヤマダダ よろしく。警部のヤマダダだ

ノノ 警部なんですか？

モモ 格好良い

ノノ 素敵

ヤマダダ 格好良い？

ノノ ええ

モモ とっても

アイコ 何かあったんですか？

ヤマダダ 怪盗ＸＹＺから予告状が届いたんだ

ノノ 怪盗？

モモ ＸＹＺ？

ヤマダダ 怪盗ＸＹＺはこの劇場をいただくと言っている

アイコ 劇場を？

ノノ やだ

モモ 怖い

ヤマダダ 大丈夫。犯人は俺が必ず捕まえる

アイコ 本当ですか？

ヤマダダ もちろんだ

ノノ さすが警部

モモ 頼りになる

ヤマダダ 俺が君たちを守ってあげるよ

ノノ・モモ　　ありがとうございます

ヤマダダ そうだ、事件が終わったら、一緒にご飯でも食べに行こうか

ノノ おごってくれるんですか？

ヤマダダ 仕方ないな

モモ やった

ユーコ 警部

ヤマダダ え？

ユーコ お仕事頑張ってください

ユーコ、退場。

ヤマダダ あれ？　ユーコちゃん？

ブナシメジ 警部、行くナリ

ヤマダダ ユーコちゃん、ちょっと待てよ

ヤマダダ・ブナシメジ、退場。

アイコ ユーコ、怒ってたね

ノノ うん、怒ってた

モモ 本当だ

アイコ ね？　だから言ったでしょ

ノノ 知らなかった

モモ 意外

ノノ ユーコって警部のこと好きなんだ

モモ 警部のどこがいいのかな？

アイコ さあ？

ノノ で、どうするの？

モモ どうするって？

アイコ そんなの決まってるでしょ

ノノ そうだよね

モモ うまくいくかな？

アイコ これが最後のチャンスだよ

ノノ うん

モモ 最後か

アイコ さ、頑張ろう

ノノ・モモ　　うん

アイコ・ノノ・モモ、退場。

ユーコ・ヤマダダ、登場。

ヤマダダ ユーコちゃん

ユーコ ついてこないで

ヤマダダ 何怒ってるの？

ユーコ 怒ってない

ヤマダダ 怒ってるよ

ユーコ 怒ってない

ヤマダダ どうしたの？

ユーコ 何でもない

ヤマダダ ねえ、ユーコちゃん

ユーコ 何でもないって言ってるでしょ

間。

ユーコ もう会いにこないで

ヤマダダ どうして？

ユーコ 私、女優やめるから

ヤマダダ え？

ユーコ もう舞台には立たない

ヤマダダ 本気？

ユーコ 本気だよ

ヤマダダ どうして急に？

ユーコ 別に急じゃないよ。私だっていろいろ考えてるんだから

ヤマダダ だったら俺に言ってくれたって

ユーコ いちいち警部に言わなきゃいけないの？

ヤマダダ そりゃ、俺に言う必要はないかもしれないけどさ

ユーコ 警部には関係ない

ヤマダダ いや、関係ある

ユーコ どうして？

ヤマダダ 俺はユーコちゃんのファンだ

ユーコ 今までありがとう

ヤマダダ もう終わりみたいな言い方しないでくれ

ユーコ もう決めたの

ヤマダダ 本当にそれでいいの？

ユーコ いいよ

ヤマダダ 本当にやめちゃっていいの？

ユーコ いいって言ってるでしょ

ヤマダダ 俺はそうは思わない

ユーコ あなたに何が分かるの？

ヤマダダ 舞台に立ってる君は素敵だ。やめちゃいけない

ユーコ 私のこと何も知らないくせに

ヤマダダ 考え直してほしい

ユーコ そうだ、怪盗ＸＹＺが来るんでしょ？

ヤマダダ それがどうした？

ユーコ 怪盗に劇場を盗まれたら、もう劇はできないよ

ヤマダダ そんなことはさせない

ユーコ いつもやられてるじゃない

ヤマダダ 今回は大丈夫だ

ユーコ 無理だよ

ヤマダダ 約束する。劇場は必ず守る。だからユーコちゃんは女優をやめないでくれ

ユーコ そんな約束できない

ヤマダダ ユーコちゃん

ユーコ さよなら

ヤマダダ ちょっと待って

ユーコ、退場。

ブナシメジ登場。

ブナシメジ フラれたナリか？

ブナシメジ、退場。ヤマダダはブナシメジを追って退場。

ユーコ・アイコ、登場。

ユーコ 何であんな予告状出したの？

アイコ 何の話？

ユーコ とぼけないで

アイコ だって、そうでもしないと警部にお別れ言えないでしょ？

ユーコ そんなことのために予告状出したの？

アイコ そうだよ

ユーコ どうして相談してくれないの？

アイコ 相談したら嫌だって言うでしょ

ユーコ 当たり前じゃない

アイコ ねえ、何も言わないで出発していいの？

ユーコ 仕方ないでしょ

アイコ 二度とこの星には戻ってこないんだよ

ユーコ 分かってる

アイコ だったら

ユーコ お別れはしてきたよ

アイコ え？

ユーコ さっき、さよならって言ってきた。だからもういいの

アイコ それはユーコとしてでしょ

ユーコ うん

アイコ 怪盗ＸＹＺとしても、ちゃんと最後のあいさつをするべきだと思うけど

ユーコ それ、いるの？

アイコ いる

ユーコ 分かった。やるよ

アイコ 楽しくやろうね

ユーコ・アイコ、退場。

ヤマダダ・マキノ、登場。

ヤマダダ とんとんとん

マキノ いませんよ

ヤマダダ え？

マキノ いませんよ

ヤマダダ いるじゃん

マキノ どうして分かるんですか？

ヤマダダ 返事してるだろ

マキノ しまった

ヤマダダ しまったじゃないよ

マキノ ただいま留守にしております。ピーという発信音の後にメッセージを

ヤマダダ お前は留守番電話か

マキノ いないことにします

ヤマダダ は？

マキノ ……

ヤマダダ おい

マキノ いません

ヤマダダ いるだろ

マキノ 気のせいです

ヤマダダ 気のせいじゃねえよ

マキノ ……

ヤマダダ とんとんとん

マキノ ……

ヤマダダ とんとんとん

マキノ ……

ヤマダダ とんとんとん

マキノ ……

ヤマダダ 開けろ。開けないとこの扉ぶっ壊すぞ

爆発音がする。

ヤマダダ 何だ？　今の音は

マキノ 何したんですか？

ヤマダダ 俺は何もしてないぞ

マキノ ということは

ヤマダダ 攻撃が始まったのか

サイトウ、登場。

サイトウ うおー

ヤマダダ サイトウさん

サイトウ 死ぬかと思った

ヤマダダ 大丈夫ですか？　サイトウさん

サイトウ すまん。攻撃が始まって、お客さんを連れてこられない

ヤマダダ もう大丈夫です。見てください

サイトウ いるじゃないか、お客さん

ヤマダダ はい

サイトウ 良かった。これで上演できるな

ヤマダダ はい。ありがとうございました

サイトウ しかし、大丈夫か？　攻撃はどんどん激しくなる

マキノ 何とかなります

サイトウ ミサイルが降ってくるんだ

ヤマダダ 大丈夫です

サイトウ 死ぬかもしれないんだぞ

ヤマダダ 劇場を守るんです

サイトウ 何だって？

ヤマダダ 俺たちが劇場を守るんです

サイトウ そんなことできるのか？

ヤマダダ できます

サイトウ どうやって？

ヤマダダ 詳しい話をしてる暇はありません。サイトウさんだけでも逃げてください

サイトウ いいや、ダメだ

ヤマダダ サイトウさん

サイトウ 詳しい話がないのは不満だが、劇場を守ると聞いて何もしないわけにはいかない

ヤマダダ でも、サイトウさんまで巻き込むわけには

サイトウ 僕はこの劇場のスタッフだ。だから僕が君たちを守る

ヤマダダ ありがとうございます

爆発音がする。

サイトウ これは食らったらひとたまりもないな

マキノ サイトウさんはどうするんですか？

サイトウ 何とか脱出の方法を考えてみよう

マキノ よろしくお願いします

サイトウ それじゃ

サイトウ、退場。

ヤマダダ 続けるぞ

マキノ はい

ヤマダダ 警察だ。開けろ

マキノ がらがらがら。あ、警部

ヤマダダ 何やってるんだ、お前

マキノ 居留守を使っています

ヤマダダ だったらもっと上手くやれよ

マキノ 警察がそんなこと言っちゃダメでしょ

ヤマダダ 行くぞ

マキノ どこへ？

ヤマダダ 事件だ

マキノ 頑張ってください

ヤマダダ お前も来るんだよ

マキノ どうして？

ヤマダダ お前、探偵だろ？

マキノ そうですよ

ヤマダダ 手伝えよ

マキノ 嫌ですよ。面倒臭い

ヤマダダ カツ丼おごってやるから

マキノ 警部とカツ丼食ってると、取り調べを受けてるような気持ちになるんですよね

ヤマダダ じゃあ食わなくていいよ

マキノ 食べます

ヤマダダ 手伝ってくれるか？

マキノ どんな事件ですか？

ヤマダダ 怪盗ＸＹＺだ

マキノ それを先に言ってください

ヤマダダ やる気だな

マキノ 当然です。何回逃げられたと思ってるんですか

ヤマダダ 今度こそ捕まえるんだ

マキノ 頑張りましょう

ヤマダダ というわけで、これを見てくれ

マキノ 下克上

ヤマダダ 予告状だ

マキノ 「今夜零時、劇場をいただきに参上する。怪盗ＸＹＺ」。劇場をいただくってどういうことですか？

ヤマダダ それを考えるのがお前の仕事だろ

マキノ いただくってことは、劇場を食べるってことですか？

ヤマダダ それは違うと思うぞ

マキノ じゃあ持っていくってことですかね

ヤマダダ どうやって？

マキノ さあ？

ヤマダダ おいおい、頼むぞ

マキノ 考えてみます

ヤマダダ 今回は失敗できないんだ。頼りにしてるからな

マキノ 任せてください

ヤマダダ よし、行くぞ

マキノ 待ってろよ、怪盗

ヤマダダ・マキノ、退場。

【８】

ヤマダダ・マキノ・ブナシメジ、登場。

ヤマダダ ブナシメジ、様子はどうだ？

ブナシメジ 異常ないナリ

マキノ 奴は来ますかね

ヤマダダ 必ず来る。今日こそ奴を捕まえるんだ

マキノ 警部、いつになく真剣ですね

ヤマダダ 俺はいつだって真剣だ

ブナシメジ 警部、時間ナリ

ヤマダダ ああ

ユーコ・アイコ・ノノ・モモ、登場。

ユーコ こんばんは、警部

ヤマダダ 来たな

マキノ 今日こそ捕まえるぞ

ブナシメジ 覚悟するナリ

アイコ できるかしら

ヤマダダ ああ。約束したからな。劇場は必ず守る

ユーコ 諦めるんだな。この劇場は我々がいただく

マキノ どうやって劇場を盗むつもりだ

アイコ さすがの名探偵も分からなかったみたいね

ユーコ この劇場には秘密があるんだ

マキノ 秘密？

ユーコ この劇場はただの劇場ではない

アイコ この劇場はね、宇宙船なんだよ

ヤマダダ 宇宙船？

マキノ ということは

アイコ そう。この劇場は空を飛んで宇宙へ行くの

ブナシメジ すごいナリ

ヤマダダ そんなことがあるわけないだろ

ユーコ 別に信じなくてもいいよ

アイコ Ｚたち、発進準備

ノノ・モモ イエッサー

ノノ・モモ、退場。

ユーコ 警部、今日はお別れを言いにきたんだよ

ヤマダダ お別れ？

アイコ 寂しくなるね。もう会えないと思うと

ヤマダダ ちょっと待て。勝手なことを言うな

ユーコ それはこっちの都合だから仕方ない

マキノ どうして宇宙へ？

ユーコ 私たちは元々、別の星から来たんだよ

アイコ 私たちは星から星へ旅をするの

ユーコ もうこの星にはいられないんだ

ヤマダダ だからさよならって言ったのか？

ユーコ え？

ヤマダダ だからユーコちゃんはさよならって言ったのか

ユーコ 何言ってるの？

ヤマダダ ユーコちゃんなんだろ？

ユーコ 誰？　それ

ヤマダダ とぼけなくていい

アイコ ユーコ、警部は知ってるみたいだよ

ユーコ アイコ

アイコ もういいでしょ。最後なんだし

ユーコ 知ってたの？

ヤマダダ 気付いてないと思ったのか？

ユーコ だって、そんな素振り、全然

ヤマダダ 俺が気付いたらユーコちゃんはいなくなっちゃうと思ったから。だから何も言えなかった

ユーコ、退場。

ヤマダダ ユーコちゃん

マキノ 怪盗ＸＹＺの正体は劇場の女優、ユーコ。ということは他の仲間も

アイコ そう。私も劇場の女優

ブナシメジ そうだったナリか

マキノ どうしてわざわざ予告状を出したの？

アイコ さよならを言わなきゃいけないと思って

ブナシメジ 警部はユーコちゃんにさよならって言われてたナリよ

マキノ フラれたのか

ブナシメジ フラれたナリ

アイコ そうじゃないよ

マキノ え？

アイコ ユーコはまだ言ってないことがある

マキノ 言ってないこと？

アイコ 探偵さん、分かる？

マキノ ユーコが言いたかったのはさよならを言うことじゃない。でもユーコは警部に正体を知られたくなかったんじゃないかな？

アイコ そうね

ブナシメジ どうしてナリか？

マキノ 正体を知られたら警部に嫌われてしまうから。そして警部はフラれたわけではない。ユーコはまだ言ってないことがある。これらの情報から女心を推理すると、つまり、ユーコは警部が好きなんだ

ヤマダダ マキノ、今の話は本当か？

マキノ 俺の推理は完璧です

ヤマダダ そうなのか？

アイコ 自分で確かめてみたら？

ヤマダダ え？

マキノ 警部、このままでいいんですか

ブナシメジ 警部、頑張るナリ

ヤマダダ ユーコちゃん

ヤマダダ、退場。

マキノ 警部が走った

ブナシメジ 青春ナリ

アイコ さ、行こう

マキノ どこに？

アイコ 二人がどうなるか見たくないの？

マキノ・ブナシメジ　　見たい

アイコ・マキノ・ブナシメジ、退場。

ユーコ、登場。遅れてヤマダダ、登場。

ヤマダダ ユーコ

ユーコ 来ないで

ヤマダダ ユーコ、話を聞いてくれ

ユーコ 今更何を話すの？

ヤマダダ いろんなことをだ

ユーコ どうして劇場で私を捕まえなかったの？

ヤマダダ え？

ユーコ 正体を知ってたんでしょ？

ヤマダダ ああ

ユーコ どうして何もしなかったの？

ヤマダダ ユーコは劇場にいるときは女優なんだ。泥棒じゃない

ユーコ そんなのおかしいよ

ヤマダダ 俺は女優のユーコが好きだ

ユーコ ……

ヤマダダ それから、泥棒のユーコも好きだ

ユーコ え？

ヤマダダ 女優でも泥棒でも、ユーコはユーコだから

ユーコ 警部がそんなこと言っていいの？

ヤマダダ 俺は今、一人の男として話している。だから、ユーコもそうしてくれないか。泥棒でもなく、女優でもない、一人の女として俺と話をしてほしい

ユーコ 警部

ヤマダダ とりあえず警部って呼ぶの、やめてくれないか？

ユーコ ヤマダさん

ヤマダダ ヤマダダ

爆発音。

【９】

マキノ・ブナシメジ、登場。

マキノ 隊長

ヤマダダ 今いいとこなんだ。邪魔するな

ブナシメジ それどころじゃないですよ

マキノ またミサイルが

ヤマダダ ミサイルがどうした

ユーコ ミサイルが降ってくる

マキノ このままじゃ劇場が崩壊します

ヤマダダ 何とかしろ

ブナシメジ そんな無茶な

ユーコ もうやめよう

ヤマダダ どうして？

ユーコ もう無理だよ

ヤマダダ 無理じゃない。劇場を守るんだ

ユーコ 死ぬかもしれないんだよ

ヤマダダ 死んでも守る

ユーコ どうしてそんなに頑張れるの？

ヤマダダ 四年前のあの日、俺たちは劇場の中にいた

ユーコ え？

ヤマダダ 俺たちは劇場に立てこもった

マキノ あれは怖かったですね

ブナシメジ 死ぬとこでしたよ

ヤマダダ 結局、劇場は壊された

ユーコ 私、見てたよ

ヤマダダ え？

ユーコ あの日、私は劇場の外にいて、劇場が壊されるのを見てた

ヤマダダ そうだったのか

ユーコ 私も劇場を守りたかったのに、何もできなかった

ヤマダダ 何もできなかったのは俺たちも同じだ

ユーコ 違う。私は戦えなかった。それから私は劇ができなくなった

ヤマダダ 今はできる

ユーコ もうやめよう。私にはもうできない

ヤマダダ どうしてそんなことを言うんだ

ユーコ どうしてミサイルが降ってくるの？

ヤマダダ え？

ユーコ 劇場を守るんだよ。なのに、どうしてミサイルが降ってくるの？

マキノ 戦争だからでしょ

ユーコ そうじゃない。これは誰かのイメージなの

ヤマダダ 何を言ってるんだ？

ユーコ ミサイルが降ってくる。これは誰のイメージ？

アイコ、登場。

アイコ ユーコ、あなただよ

ユーコ アイコ

アイコ これはあなたのイメージ

ユーコ 違う

アイコ ユーコ

ユーコ 私は劇場を守るの。そう決めたの

アイコ ユーコ、もういいよ

ユーコ もういいって、何が？

アイコ 自分に嘘をついちゃいけない

ヤマダダ どういうことだ？

アイコ ユーコがイメージしたの。ミサイルが降ってくる

ヤマダダ ユーコが？

アイコ ユーコはね、死にたかったんだよ

ユーコ え？

アイコ ユーコは、この劇場と一緒に壊れて消えてしまおうと思ったの。だからここに来たんでしょ？

ユーコ 違う

アイコ じゃあどうしてミサイルが降ってくるの？

ユーコ それは

アイコ ユーコはどんなイメージをしてるの？

ユーコ 誰もいない劇場で、ミサイルが降ってきて、私は消えてなくなる

ヤマダダ ユーコ？

ユーコ そっか。私、死にたかったんだ

ヤマダダ 何言ってるんだ

ユーコ ごめんね、ヤマダさん。やっぱり劇場は守れないみたい

ヤマダダ いいや、劇場は必ず守る

ユーコ もう終わり。ミサイルが降ってくる

ヤマダダ この劇場は宇宙船なんだ。ミサイルなんかにやられない

ユーコ それは劇の中だけでしょ

ヤマダダ 劇場は言ったことが本当になるんだろ

ユーコ そんな夢みたいなことあるわけないでしょ

爆発音。

ユーコ ミサイルが降ってくる。劇場がなくなるんだ

暗くなる。声だけがする。

ユーコ 真っ暗で誰もいない。これが私のイメージ

アイコ 私はいるよ

ユーコ アイコ？

アイコ そう

ユーコ 見えないよ

アイコ 見えなかったらいないのと同じ？

ユーコ だって見えないよ

アイコ 声は聞こえるでしょ

ユーコ でも触れない

アイコ 触れるよ

ユーコ いた

アイコ ユーコ

ユーコ 何？　アイコ

アイコ 消しゴムをあげる

ユーコ 消しゴム？

アイコ 真っ暗なイメージは消しゴムで消せるよ

ユーコ 消しゴムで、消せる

明るくなる。ヤマダダ・マキノ・ブナシメジはいなくなっている。

ノノ・モモ、登場。アイコとユーコに鉛筆と消しゴムを渡す。

アイコ 明るくなった？

ユーコ うん

アイコ 鉛筆もあるよ

ユーコ 鉛筆はどうするの？

アイコ 楽しいイメージを書くんだよ

ユーコ 楽しいイメージ

アイコ ユーコは何をしたかったの？

ユーコ 劇をしたかった

アイコ うん

ユーコ 私ね、四年前まで女優だったんだよ

アイコ うん

ユーコ 私ね、劇場が好きなの

アイコ うん

ユーコ ねえ、アイコ

アイコ 何？

ユーコ あなたは誰なの？

アイコ 私は劇場の亡霊

ユーコ 劇場の亡霊

アイコ ユーコが来るのを待ってたの

ユーコ 私が来るのを？

アイコ うん。ずっと待ってた

ユーコ どうして？

アイコ 劇場を守ってくれる人を探してたの

ユーコ 私は劇場を守れないかもしれない

アイコ 大丈夫だよ。劇場が好きだって言ってくれたじゃない

ユーコ うん

アイコ 私たちは思い出の結晶なの。私たちはあなたの思い出

ユーコ うん

アイコ だから覚えててね

ユーコ うん。忘れない

歌を歌う。

覚えていてね

春の花吹雪

覚えていてね

夏の流れ星

秋の茜空

冬の降り積む雪

遠い思い出

覚えていてね

爆発音。

アイコ・ノノ・モモ、退場。

ヤマダダ・マキノ・ブナシメジ、登場。

ヤマダダ ユーコ、大丈夫か

ユーコ ヤマダさん

ヤマダダ ヤマダダだ

ユーコ この劇場は宇宙船なんだね

ヤマダダ ああ

ユーコ ヤマダダさんも一緒に宇宙へ行く？

ヤマダダ え？

ユーコ それがユーコからの返事

ヤマダダ その展開は考えてなかったな

爆発音。

マキノ いよいよかな

ブナシメジ 劇場、壊れちゃうんですか？

ユーコ 大丈夫だよ。こういう時はスーパーヒーローが助けてくれるんだよ

ヤマダダ スーパーヒーローか

爆発音。

サイトウ、登場。

サイトウ みんな、無事か

ヤマダダ サイトウさん

サイトウ さあ、脱出しよう

マキノ スーパーヒーローだ

ブナシメジ 格好良い

サイトウ これが最後のチャンスだ。いいな

マキノ・ブナシメジ　　はい

爆発音。

ヤマダダ ユーコ、行こう

マキノ どうやって脱出するんですか？

サイトウ 宇宙船に乗って空を飛ぶんだ

ブナシメジ すごいですね

ユーコ まだ劇が続いてるみたい

ヤマダダ 続いてるよ。まだ終わってないからな

ユーコ アイコ、聞こえる？　見えなくてもいるんだよね。私、覚えてるから。絶対にここに戻ってくるから。またお芝居しようね

ヤマダダ さあ、行こう

全員、退場。

終わり。

【参考】

※１　「１０００のバイオリン」

THE BLUE HEARTSの楽曲。

※２　大泥棒石川二十五右衛門次郎吉三世

石川五右衛門は安土桃山時代の泥棒。鼠小僧次郎吉は江戸時代の泥棒。ルパン三世は漫画『ルパン三世』（モンキー・パンチ）の主人公。

※３　怪盗アルセーヌ・ジャンヌ・セイントテール

アルセーヌ・ルパンは小説「アルセーヌ・ルパンシリーズ」（モーリス・ルブラン）の主人公。怪盗ジャンヌは漫画『神風怪盗ジャンヌ』（種村有菜）の主人公。怪盗セイント・テールは漫画『怪盗セイント・テール』（立川恵）の主人公。

※４　キャッツアイ

漫画『キャッツ・アイ』（北条司）

※５　銭形警部

漫画『ルパン三世』の登場人物。

※６　「真実はいつもひとつ」

漫画『名探偵コナン』（青山剛昌）の台詞。

※７　うっかり八兵衛

時代劇「水戸黄門」の登場人物。

※８　コロ助

漫画『キテレツ大百科』（藤子・Ｆ・不二雄）の登場人物。